The KeMCo Review 執筆要領

慶應義塾ミュージアム・コモンズ 編集委員会

作成:2022年4月28日/改訂:2025年5月1日

本執筆要項は、慶應義塾ミュージアム・コモンズの論文誌「The KeMCo Review」に投稿する論文および研究ノートの執筆に関して定めています。

「The KeMCo Review」が想定する読者は、本誌の対象領域に関心を持つ研究者・専門家・学生・一般読者です。読者の関心に応えるとともに、議論の活性化と深化に資するよう、学術論文としての記述方法を保ちながら、分かりやすい構成と表現をご工夫ください。また、編集委員より、語句や表現などについて修正をご提案させていただくこともありますので、あらかじめご了承ください。

原稿の形態

- 原稿は B5 判で、原則として横書きで組版されます。
- 専用の原稿テンプレートを使用し、MS-Word のファイルと、PDF ファイルを提出してください。
- 図表ファイルは、隅付き括弧で図表番号を示し、本文中には挿入しないでください。
- PDFファイルは、書体や特殊文字などを確認するために使用します。

表紙の要素

- 1ページ目を表紙とし、下記の内容を日英両文で記してください。
 - タイトル、サブタイトル(必要な場合)
 - 著者名と所属
 - 著者連絡先(住所、電話番号、E-mail。複数著者の場合は、連絡担当者に*印をつけてください)
 - アブストラクト:和文 400 字以内、英文 200 語以内
 - キーワード:3~5つのキーワード
 - 掲載時のライセンス:クリエイティブ・コモンズのうちいずれかのライセンスを選択

本文とその他の要素

- 2ページ目から、本文、注、参考文献、図表リストを記してください。
- 本文は、原則として和文で20,000字、英文で10,000語までに収めてください(注、参考文献、図表、図表リストを除く)。

図表

- 図表は、15 点までを目安とします。図表には通し番号を振り、隅付き括弧で示してください。Word ファイルの本文中に図表ファイルを挿入しないでください。
 - (例) 東別館の中央階段から確認できる、オープン・デポ【1】では・・・

- 通し番号、タイトル(必要な場合)、出典や著作者情報の一覧を、本文末尾にまとめ、図表リストとして記載してください。出典の表記は、参考文献の表記方法と統一してください。
 - (例) 1. オープンデポ、撮影:慶應義塾ミュージアム・コモンズ
- 投稿規程 5-2 を参照の上、図表の使用・掲載に関わる権利処理は、著者が行ってください。
- ・ 印刷用データとして、図表の高精細データ(解像度 350dpi 程度、カラー)をフォルダにまとめて提出してください。データの形式は、JPEG もしくは EPS のいずれかとし、ファイル名は、通し番号と一致させてください。
- 図表は、紙媒体ではグレースケール、電子媒体ではカラーで掲載されます。採録決定後、グレースケールデータの提供を依頼します。

注と参考文献

- 注は後注とします。本文内では、() 内に入れ、句読点の前に記してください。*の後に通し番号をつけてください。
 - (例) 慶應義塾大学東別館 (*1) の3階にある KeMCoの展示室では・・・
- ・ 本文および注内で参考文献を参照する際は、<u>著者名・発行年形式(著者名 出版年:該当ページ)</u>で記載してください。
 - (例) 2021年の展覧会「我に触れよ」(慶應義塾ミュージアムコモンズ 2021a:3-8)では・・・
- 参考文献は、統一した形式の元に作成し、本文末尾にまとめて掲載してください。和文欧文の順に分け、和文は五十音順、欧文はアルファベット順に記載してください。同じ著者による文献は出版年順に記載してください。

校正

- 採録が決定した Word の最終原稿を元に、編集部が誌面のレイアウトを行います。
- 著者による校正は原則1回とします。

改訂

2023 年 6 月 9 日:原稿の形態を変更 (A4→B5)

2025 年 5 月 1 日:表紙の要素:ライセンスを追加/本文とその他の要素:本文文字数の指示を明確化/図表:出典表記の指示を明確化/注と参考文献:記載例を追加、参考文献の形式指示(SIST)を廃止、文献列挙の指示を明確化